



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 ホクト株式会社 上場取引所 東
コード番号 1379 URL <https://www.hokto-kinoko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 中田 康平 TEL 026-259-5955
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	58,579	8.8	1,436	—	2,263	—	1,473	—
2023年3月期第3四半期	53,859	2.5	△3,080	—	△2,082	—	△1,703	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,293百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △1,550百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	46.49	43.91
2023年3月期第3四半期	△53.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	103,943	52,103	50.1
2023年3月期	104,897	50,955	48.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 52,103百万円 2023年3月期 50,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2024年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,200	9.9	1,920	—	2,110	—	700	—	22.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3 Q	33,359,040株	2023年3月期	33,359,040株
2024年3月期3 Q	1,634,877株	2023年3月期	1,698,816株
2024年3月期3 Q	31,700,485株	2023年3月期3 Q	31,605,725株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調を維持しましたが、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、国内において急激な円安による経済への悪影響や物価高が懸念材料になるなど、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境の中、「きのこで健康を届けることを使命に市場と消費を拡大する」及び「利益の創出と企業の社会的責任を両立する」を経営ビジョンとし、当社グループは消費者の皆様及び従業員の安全を最優先に考え、きのこ事業を中心として、健康食材である「きのこ」の研究開発、生産、販売を通してより多くの皆様へ、おいさと健康をお届けできるよう事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高585億79百万円（前年同四半期比8.8%増）、営業利益14億36百万円（前年同四半期営業損失金額30億80百万円）、経常利益22億63百万円（同経常損失金額20億82百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億73百万円（同親会社株主に帰属する四半期純損失金額17億3百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジ35,486 t（前年同四半期比4.2%減）、エリンギ12,836 t（同8.8%減）、マイタケ11,906 t（同3.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

「国内きのこ事業」

生産部門におきましては、衛生管理をより徹底し、品質の向上と安定栽培に努め、安全・安心なきのこを提供してまいりました。

研究部門におきましては、品質管理体制の強化、付加価値の高い新製品の開発、既存のきのこの改良及びきのこの薬理効果や機能性の追求に取り組んでまいりました。

営業部門におきましては、きのこ需要を喚起すべく、健康・美容・スポーツを3本柱とした「きのこで菌活」を提唱し、鮮度に拘った営業活動を行ってまいりました。販売面におきましては、この秋の高温・干ばつの影響で野菜は品薄品目が多く、野菜相場の高値基調が続く中、きのこの需給を改善すべく第3四半期も引き続き生産調整を行った結果、きのこの価格も昨年を上回る価格で推移いたしました。

以上の結果、国内きのこ事業全体の売上高は380億49百万円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

「海外きのこ事業」

米国の現地法人「HOKTO KINOKO COMPANY」におきましては、値上げの効果が売り上げ、営業利益ともに堅調に推移いたしました。台湾の現地法人「台湾北斗生技股份有限公司」におきましては、小売り各社での価格競争が激化しており、各顧客先で値上げ申請が却下される厳しい状況となりまして、売上高、営業利益は計画未達となりました。マレーシアの現地法人「HOKTO MALAYSIA SDN. BHD.」におきましては、コロナが終息に向かっていることにより、店頭での販促・イベントの実施制限がなくなったことで、マレーシアを中心に試食販売やもぎ取り販売等のイベントを実施し、売上増を図りました。しかしながら、中国産のきのこの影響は少なくなってきたものの、安価な他のきのこの影響もあり、当社のきのこ販売売上高、営業利益共に計画を下回ることとなりました。

以上の結果、海外きのこ事業全体の売上高は55億22百万円（同16.6%増）となりました。

「加工品事業」

加工品事業におきましては、水煮・冷凍などのきのこの加工品の販売を行うとともに、新商品の開発および市場開拓に取り組んでまいりました。デリカ向け商品やメーカー向け販売が順調だったほか、青果向け市販用加工商品も好調な販売となりました。しかしながら、主力のコンビニエンスストア向けは原料値上げやメニューへの採用が減り売上は低調に推移致しました。通販事業は、自社ECサイトを中心に売上は伸長いたしました。また、子会社の株式会社アーデンにおきましては、売上高は計画を下回りましたが、製造経費を削減し営業利益は計画を上回りました。

以上の結果、加工品事業の売上高は57億79百万円（同6.5%減）となりました。

「化成品事業」

包装資材を主要事業とする第一営業部では、品質劣化をおさえる機能性包材や、リサイクル原料を利用した環境包材を中心とした付加価値製品の提案営業に取り組みました。観光土産関連の売上が堅調に推移する一方、半導体・自動車関連部品関連メーカー向けの一部に回復の兆しがあるものの、工業資材販売は苦戦しました。自社製品の生産・販売及び農業資材販売を中心とする第二営業部では、引き続き自社製品の品質向上と販売拡大に努めました。きのこ生産者向けに需給がひっ迫する一部生産原料や培地の安定供給に注力したほか、スポットの設備投資需要を取り込みました。

以上の結果、化成品事業の売上高は92億27百万円（同4.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は318億40百万円となり、前連結会計年度末より10億49百万円増加いたしました。固定資産は721億2百万円となり、前連結会計年度末より20億3百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産30億91百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は1,039億43百万円となり、前連結会計年度末より9億53百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は333億12百万円となり、前連結会計年度末より46億24百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金80億円の増加、流動負債のその他に含まれる1年内償還予定の新株予約権付社債97億19百万円及び1年内返済予定の長期借入金37億97百万円の減少によるものであります。固定負債は185億27百万円となり、前連結会計年度末より25億22百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金18億97百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は518億39百万円となり、前連結会計年度末より21億1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は521億3百万円となり、前連結会計年度末より11億47百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益14億73百万円を計上し配当金12億72百万円を支払ったことによる利益剰余金2億1百万円及びその他有価証券評価差額金7億70百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.1%（前連結会計年度末は48.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年11月10日付「2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,031	13,718
受取手形及び売掛金	6,250	9,051
商品及び製品	2,636	2,696
仕掛品	4,308	4,337
原材料及び貯蔵品	1,056	1,283
その他	538	795
貸倒引当金	△31	△41
流動資産合計	30,790	31,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	71,334	71,903
減価償却累計額	△34,848	△36,655
建物及び構築物(純額)	36,486	35,247
機械装置及び運搬具	67,555	69,048
減価償却累計額	△55,339	△58,557
機械装置及び運搬具(純額)	12,215	10,491
土地	14,506	14,276
その他	2,760	2,882
減価償却累計額	△1,995	△2,016
その他(純額)	765	866
有形固定資産合計	63,973	60,881
無形固定資産		
のれん	9	—
その他	202	183
無形固定資産合計	211	183
投資その他の資産		
投資有価証券	6,681	7,827
退職給付に係る資産	1,127	1,169
その他	2,254	2,186
貸倒引当金	△142	△146
投資その他の資産合計	9,920	11,037
固定資産合計	74,106	72,102
資産合計	104,897	103,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,187	6,660
短期借入金	7,088	15,088
未払法人税等	262	297
賞与引当金	964	623
その他	23,433	10,643
流動負債合計	37,936	33,312
固定負債		
長期借入金	14,072	15,970
退職給付に係る負債	358	374
資産除去債務	1,030	1,049
その他	543	1,132
固定負債合計	16,004	18,527
負債合計	53,941	51,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,728	5,728
利益剰余金	41,943	42,145
自己株式	△3,151	△3,024
株主資本合計	50,020	50,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,352	2,123
為替換算調整勘定	△357	△325
退職給付に係る調整累計額	△59	△42
その他の包括利益累計額合計	935	1,754
純資産合計	50,955	52,103
負債純資産合計	104,897	103,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	53,859	58,579
売上原価	44,969	45,023
売上総利益	8,889	13,556
販売費及び一般管理費	11,969	12,119
営業利益又は営業損失(△)	△3,080	1,436
営業外収益		
受取配当金	151	179
受取地代家賃	65	93
為替差益	711	545
助成金収入	38	34
その他	122	114
営業外収益合計	1,088	966
営業外費用		
支払利息	71	96
その他	20	42
営業外費用合計	91	139
経常利益又は経常損失(△)	△2,082	2,263
特別利益		
固定資産売却益	2	5
特別利益合計	2	5
特別損失		
固定資産除却損	2	0
その他	0	—
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,082	2,269
法人税、住民税及び事業税	303	569
法人税等調整額	△683	226
法人税等合計	△379	795
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,703	1,473
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,703	1,473

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,703	1,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	298	770
為替換算調整勘定	△167	32
退職給付に係る調整額	21	17
その他の包括利益合計	153	819
四半期包括利益	△1,550	2,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,550	2,293
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。